

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(情報発信コーディネーター)
にしかわ たいこ
西川 太悟

❶ 協力隊の任期もあと少しとなりました。振り返ってみてどうですか？

❶ この3年間は本当にあっという間で、毎日が色濃く充実していました。1、2年目はひたすらもがいて町の暮らしに慣れた年で、住んでいるうちに「良い町だな、これからも住みたいな」と思うようになり、3年目は黒潮町にこれからも住み続けるためのなりわい作りに力を入れた年でした。黒潮町公式YouTubeチャンネルの登録者数も800人を超えて、見てくれる人が増え、たくさんの方に応援や協力をしていただき、やりがいモチベーションにつながり、ここまで仕事を続けられたと思います。残りの期間では、今まで関わっていただいた方などにお礼を伝えていきたいです。また、カメラの使い方や業務内容、ドローンの使い方、企画の進め方などのノウハウの引き継ぎをしっかりと行って卒業したいと思います。

❷ 情報発信コーディネーターとして活動してきて感じる町の魅力とは？

❶ ありすぎて選べないです。海もきれいで山もきれいで、川でも遊べて、「これ以上何もいらないのでは」と思ってしまうくらい満たされた町です。自然に触れる機会が多く、リフレッシュできる場所がたくさんあること、「海へ行こう」、「川へ行こう」など、ふと思った時に身近にあるのは魅力に思います。

❸ 築130年の古民家を改修した宿泊、レンタルスペースがオープンしたそうですね。

❶ 昨年6月にオープンして、少しずつご利用いただいています。地域の方にも知ってもらったり、使ってもらえればと思いますし、旅行で来た方にはゆっくり滞在しながら町の魅力を知ってもらえる宿にできたらと思います。黒潮町の観光と交流の拠点としてこれからもみんなの居場所を創っていきます。



古民家を改修した宿泊施設

協力隊から一言！

引き続き町内を拠点に楽しい場所を作っていきますので、これからもよろしくお願いします。

Kramer's Corner クレマのコーナー



今月のテーマ セイントパトリックス・デー

3月17日はセイントパトリックス・デーです。この日は、アイルランドにキリスト教を広めた重要な聖人、聖（セイント）パトリックの命日です。キリスト教徒にとって宗教的な祭日であり、アイルランドでは国民の祝日でもあります。アイルランド人移民の長い歴史を持つアメリカでは、アイルランドとアイルランド系アメリカ人文化を祝う日になっています。アメリカ初のセイントパトリックス・デー祝いは1600年にフロリダ州で行われたパレードから始まり、今は全国でお祝いされる人気のホリデーとなっています。

どうやって現代のアメリカ人はこの日を祝うかというと、まずは、アイルランドを象徴する色とされる緑のものをたくさん身につけます。普通の緑色の洋服から、この日のために作られた大きな緑の帽子やサングラスまで、どこを見ても緑をつけている人がいます。また、そうしない人をつねる風習もあるので、緑を着ていない人はこの日に要注意。ちなみに緑の服を持っていない人は、アイルランドのシンボルである三つ葉のクローバーをシャツなどにピンで留めたら、つねられることを避けられます。

街の大きな祝いについては、パレードが見られ、アイルランド料理や音楽、ダンスのイベントを楽しむことができます。それに、シカゴを初め、川ごとを緑色に染める都市もあります。あと、この日によく飲む習慣もあるので、多くのバーがパーティーを開き、緑色のビールを出します。皆さんも3月17日に少しセイントパトリックス・デーの気分を味わい、緑を着てみませんか。



アイルランド国旗とアイルランドの象徴である三つ葉のクローバー

今月の使える！英語

スプリング クリーニング
Spring cleaning (春の大掃除)

もうすぐ春、アメリカでは大掃除の時期がやってきます。年末に大掃除をする日本の習慣のように、アメリカ人は春先にします。

